

インフルエンザ定点(小児科定点を含む)

インフルエンザ: 報告数622件(前月比 0.4、前年同月比 17.3)と、1月をピークに毎月減少がみられています。前年同月が36件と少なかったため前年度との比較ではまだ件数が多いですが前月と比べて大幅に減少しています。

小児科定点

(全体傾向) 報告数3,602件(前月比 0.6、前年同月比 1.1)と前月から大幅に減少しています。インフルエンザ(前月比 0.4)と感染性腸炎(前月比 0.5)の減少によるものです。一方、手足口病(前月比 2.4)とヘルパンギーナ(前月比1.3)が夏季に向かい例年どおりの増加傾向がみられます。

(疾患別傾向)

1. RSウイルス感染症: 報告件数10件(前月比 0.4、前年同月比 10.0)で、昨年12月をピークに今年に入り連続的に減少しており、例年並みの推移を示しています。
2. 咽頭結膜熱: 報告数58件(前月比 0.8、前年同月比 1.3)で、昨年12月をピークに全体として減少傾向が続いています。
3. A群溶連菌咽頭炎: 報告数227件(前月比 1.1、前年同月比 1.4)で、3月をピークに4月は減少しましたが、5月は再び微増に転じました。
4. 感染性胃腸炎: 報告数1,309件(前月比 0.5、前年同月比 0.9)と、今年は3月をピークに4月、5月は大幅に減少しています。その中では山鹿地区からの報告が多いようです。
5. 水痘: 報告数492件(前月比 0.9、前年同月比 1.1)で、3月をピークに4月、5月と少しずつ減少しています。その中では人吉、宇城地区からの報告が多いようです。
6. 手足口病: 報告数120件(前月比 2.4、前年同月比 0.5)で、夏季に向かって4月から徐々に増加傾向がみられます。これから急増するものと予想されます。天草地区からの報告が多いようです。
7. 伝染性紅斑: 報告数63件(前月比 0.7、前年同月比 1.0)と、昨年から例年より多い件数で推移していましたが、3月をピークに4月、5月は減少しています。
8. 突発性発しん: 報告数176件(前月比 1.1、前年同月比 1.3)と、夏季に向かい微増傾向を認めますが例年並みの推移と考えられます。
9. 百日咳: 報告数0件(前月比 -, 前年同月比 -)でした。
10. ヘルパンギーナ: 報告数77件(前月比 1.3、前年同月比 0.3)で、4月からわずかに増加傾向を認めます。これから夏季に向かい急速に増加していくと予想されます。天草、水俣地区からの報告が目立ちました。
11. 流行性耳下腺炎: 報告数285件(前月比 0.8、前年同月比 1.4)で、全体としては例年より多い件数で推移していますが、3月をピークに4月、5月は減少しています。

眼科定点

1. 急性出血性結膜炎： 報告はありません。
2. 流行性角結膜炎： 報告数37件（前月比0.7、前年同月0.8）と減少しています。地区別では熊本33件、有明2件、天草2件の報告です。年齢別では15～29歳で32%、40～59歳で41%と2峰性を示しており、その他の年齢ではわずかな発症となっています。

STD定点

1. 性器クラミジア感染症: 報告数 36件(前月比 0.6、前年比 1.1)でした。前月比では著明に減少していましたが、前年比では僅かに増加しています。男女別は、女性が28件と圧倒的に多く見られています。年齢別は、女性は15～34歳に24件と多く、男性では20～34歳に7件と多く見られています。地区別は、熊本が24件と圧倒的に多く、次いで御船6件、宇城3件、八代2件、有明に1件でした。
2. 性器ヘルペスウイルス感染症:
報告数 19件(前月比 1.0、前年比 1.0)でした。前月比、前年比とも同数でした。男女別は、女性が13件と多く見られました。年齢別は、女性で15～70歳、男性でも20～64歳と幅広く見られています。地区別は、熊本が11件と多く、次いで八代5件、御船2件、宇城1件でした。
3. 尖圭コンジローマ: 報告数は 5件(前月比 0.7、前年比 0.7)でした。前月比、前年比とも減少しています。男女別は、男性に3件と多く見られています。年齢別は、男性で30～34歳に2件、40～44歳に1件、女性では15～19歳、25～29歳に各1件見られました。地区別は、宇城2件、熊本、御船、八代に各1件でした。
4. 淋菌感染症: 報告数は 6件(前月比 0.4、前年比 0.8)でした。前月比、前年比とも減少しています。男女別は、男性に4件と多く見られています。年齢別は、男性は25～39歳に、女性では15～19歳、35～39歳に各1件見られています。地区別は、熊本5件、次いで有明1件でした。

基幹定点

(月報分)

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：
報告数49件（前月比 0.8、前年同月比 0.7）でした。35件（71%）が70歳以上でした。
2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：
報告数8件（前月比 0.8、前年同月比 4.0）でした。場所は熊本市保健所が6件で前月より1件減っていました。年齢は0歳が2件、1～4歳が1件、65～69歳が1件、70歳以上が4件でした。
3. 薬剤耐性緑膿菌感染症：
報告はありませんでした。
4. 多剤耐性アシネトバクター感染症：
報告はありませんでした。

(週報分)

1. 細菌性髄膜炎： 報告数0件（前月より -1、前年同月より -2）でした。
2. 無菌性髄膜炎： 報告数0件（前月より -1、前年同月より -1）でした。
3. マイコプラズマ肺炎：
報告数3件（前月比 0.75、前年同月比 0.6）でした。場所は熊本市保健所が3件でした。年齢は5-9歳が2件、55-59歳が1件でした。
4. クラミジア肺炎：報告数0件（前月より -1、前年同月比 増減なし）でした。

届け出対象感染症

- | | |
|--------------|--|
| 1類感染症： | 報告はありませんでした。 |
| 2類感染症： | 結核： 29件 |
| 3類感染症： | 腸管出血性大腸菌感染症： 11件
(O157: 7件、O103: 3件、O91:1件) |
| 4類感染症： | レジオネラ症： 1件 |
| 5類感染症（全数把握）： | 梅毒： 1件 |